

南海電鉄 なんば駅 照明リニューアル



所在地：大阪府中央区難波5丁目1番60号
規模：9面8線
最長ホーム有効長：21m級×10両編成対応
施主：南海電気鉄道株
更新電気工事：南海ビルサービス株
更新工事完了：平成25年9月

S289

大阪ミナミを代表するターミナル駅、南海電鉄なんば駅。9面8線の巨大なホームの照明をLED器具にリニューアルし、明るさ感を高めながら、省エネ・省メンテナンスを実現しています。

明治時代から市民に親しまれる大阪ミナミのターミナル駅

南海電鉄なんば駅は、1日平均約25万人が利用し、関西国際空港への玄関口としても機能している、大阪ミナミのターミナル駅です。その歴史は古く、開業は1885（明治18）年12月。外壁にテラコッタタイルを用いたコリント様式の近代建築によって1932年に併設された南海ビルとともに、伝統を守りながら変革を続け、2001年には第2回「近畿の駅百選」にも認定されています。

空間の明るさ感を高めるLED化 大きな省エネ・省メンテナンス効果

ホームは、南海ビルの3階に位置し、ヨーロッパの鉄道ターミナル駅などに多く見られる頭端式（櫛形）の構造で、9面8線の巨大な空間を有しています。乗り場は、1～4番が高野線、5～9番が南海本線・空港線で、最も長いホーム有効長は21m級×10両編成に対応しています。

今回の照明改修工事では、1番～8番乗り場において、既設の吊下ラックレールを活用し反射板リニューアルユニットを用いることで、導入コストを抑えたLED化を実現しています。LED器具は、FLR110形×2灯用省電力タイプのLEDベースライト（10,400lmタイプ、消費電力1台当たり99W、相関色温度5000K）を、1,111台設置。乗降客が車両に乗り降りする際に足下への注意が必要となるホーム端の明るさを十分に確保し、さらに、線路内にまで光を届けることで心理的な不安感を減少させる効果をもたらしています。また、LEDベースライトは天井面を含めた広い範囲に光がまわり込むため、9面8線の巨大な空間全体の明るさ感を向上させながらも、運転士には不快な眩しさを与えない光空間を創出しています。

点灯時間は、1日平均約20時間。深夜に行われる工作業などにより1日24時間点灯し続けていることもあります。そのため、消費電力の少ないLED化の実施によって、従来に比べ大幅な消費電力削減が可能となりました。また、駅ホームでは列車運行時の高所作業が困難なため、長寿命によるメンテナンスコストの削減にも大きな効果をもたらしています。



各ホームにライン状に配置されたLEDベースライト（9番ホーム南側より北側を望む）



ホームの曲線に合わせて配置され線路内にも明るさを確保（1番ホーム中程より南側を望む）



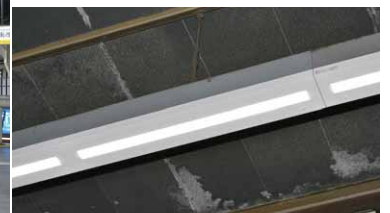
電車昇降時に足元を明るく照射しているLED器具



階段下からホームへ続く乗降客の導線の明るさも確保



LEDベースライトの光がまわり込み天井面の明るさ感も向上



既設の吊下ラックレールへ反射板リニューアルユニットを用いて設置されたLEDベースライト

主な照明器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	備考
ホーム天井	LEDベースライト	特注器具	1,111	LED 消費電力:99W